



●ご挨拶

公益財団法人名古屋産業振興公社
理事長 壺谷 幸也

あけましておめでとうございます。
皆様、健やかに新春をお迎えのこと
とお慶び申し上げます。

旧年中は、私ども公益財団法人名古屋産業振興公社の事業運営に格別のご支援・ご理解を賜り、誠にありがとうございます。

本年も、産学官民の連携による多様なネットワークを活用し、創業・経営支援、研究開発支援、工業技術支援、産業振興施設の管理運営などの事業を通じ、当地域の産業振興に努めて参ります。引き続き、ご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、この名古屋圏は、高度な技術を有する製造業が数多く集積しており、主力の自動車関連、工作機械関連産業に加え、北米へのフェリーフライトが成功した MRJ の開発とボーイング 787 等の製造プロジェクトを推進する「アジア No.1 航空宇宙産業クラスター形成特区」として、更なる産業の発展が期待されています。

また、名古屋市・愛知県は 2026 年夏季アジア競技大会の開催地にも選定され、リニア中央新幹線も東京―名古屋間の開業が 2027 年に予定されており、これを見据えて名古屋駅を高機能のターミナルとして整備し、周辺地区の新たな街づくりを推進する構想など、ものづくり産業以外の分野におきましても全国の注目を集めています。

一方、昨今急速に拡大している「IoT (モノのインターネット)」は、産業機械から日常生活用品に至るまで様々なネットワークを形成するもので、相互接続するネットワークの情報を処理するビッグデータ技術は AI (人工知能) と相まって大きな価値を創造していくものと期待されます。この AI による学習機能を活用し、より高度な産業ロボットも開発されており、本年 7 月に

は、ポートメッセなごやにおいて、自律移動ロボットによるサッカーを主な題材とした「Robo Cup 2017」が開催されます。

当公社は、このような様々な環境変化に対応し、工業技術振興部を始め各事業部の連携を強化して、当地域の一層の産業振興に努めてまいります。

まず 1 月には、大阪大学の浅田稔先生を講師に迎えて「人間との共生が課題のこれからの AI・ロボット」と題する新春講演会を開催します。2 月のものづくり技術講演会においては、CFRP の用途と加工技術についての講演会と、名古屋市工業技術グランプリ受賞企業の表彰、新製品・新技術の展示を行います。

さらに、研究推進部では名古屋オープンイノベーション研究会を始め各種研究会の開催、とりわけ、医療介護ものづくり研究会においては、企業と大学・研究機関、病院・介護施設等との連携による医療介護に関する機器・ロボットの開発及び普及を目標としています。

また、PLACIA では、各種プラズマ技術の研究・開発及び人材育成などを通して、地域の産業振興のサポートをしています。この他、nabi/ 金山、nabi/ 白金での新規創業支援など、当地域の企業の皆様にお役に立つ事業を展開して参ります。

今後も、当公社への変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、ご活用・ご利用をしていただきますようお願い申し上げます。

最後に、企業・各関係団体の皆様方のご健勝とご発展をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞ宜しく願い申し上げます。